

インフルエンザ(2026年第4週)疫学情報 《コメント》

2026年第4週の定点当たり報告数は16.64(患者報告数63,326)となり、前週の定点当たり報告数11.33よりも増加した。都道府県別では鹿児島県(35.19)、宮崎県(29.36)、大分県(28.90)、宮城県(24.85)、三重県(23.84)、千葉県(23.80)、長崎県(22.90)、静岡県(22.73)、高知県(22.47)、山梨県(22.23)、埼玉県(22.18)、愛媛県(22.08)の順となった。全国47都道府県中、42都道府県では前週の報告数よりも増加し、5都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は647例であり、前週(843例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(22例)、1~4歳(92例)、5~9歳(95例)、10代(59例)、20代(17例)、30代(12例)、40代(13例)、50代(24例)、60代(40例)、70代(99例)、80歳以上(174例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第52週~2026年第4週)では、AH3亜型が154件(74%)、B型が53件(26%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。